第20回
九州「川」のワークショップ in 日向

～ 日本のひなたから届け！環境と防災 ２つのパワー ～

プログラム

主催：第２０回九州「川」のワークショップ in 日向実行委員会
（構成団体：宮崎県の河川協力団体、宮崎県、日向市、宮崎大学、九州電力、市民団体等）
共催：九州河川協力団体連絡会議
後援：国土交通省九州地方整備局

河川基金

第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向は、公益財団法人 河川財団による河川基金の助成・（一社）九州地域づくり協会の支援を受けて実施します。

— 目次 —

〇１１月７日（日）午前のプログラム・・・・・・・・・・・・ １

〇１１月７日（日）午後のプログラム・・・・・・・・・・・・ ５

〇ワークショップの説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６

〇発表団体応募資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７

１１月 ７日（日）午前のプログラム

０８：００～　オンライン受付・ウェルカム動画配信　ZOOM

※発表団体は入室の際、自身のグループのアルファベット（A～E）＋団体名を設定して下さい。

（例）A九州川のワークショップ実行委員会　※設定を忘れた際は、退出し再入室して下さい。

●日向市民ひょっとこ総踊り（１９分３９秒）

０８：４０～　操作方法などの動画配信　ZOOM

０９：００～　開会式　ZOOM

●開会宣言	大会実行委員長	山田　大志（Live）
●開会挨拶	大会会長　九州河川協力団体連絡会議　代表	中村　周二（Video）
●挨拶（開催地）	日向市長	十屋　幸平（Video）
●来賓挨拶	国土交通省九州地方整備局　河川部長	島本 和仁 様（Video）
●ワークショップのスケジュールと進行方法の説明	大会副実行委員長	池辺　美紀

０９：２０～　ステージ発表（グループA～E）　Video

●グループ毎の質疑応答（各グループ発表数×２分）

●質疑応答の準備の間に日向市PR動画を配信します。

Aグループ（09:20～09:50）

コーディネーター	宮崎　将和	NPO法人嘉瀬川交流軸（河川協力団体）
	峯田　陽生	宮崎大学大学院工学研究科
	新垣　俊介	宮崎大学工学部社会環境システム工学科

No.	団体名	応募テーマ	活動場所等	発表予定時刻
1	大淀川環境保全クラブ	ぼくたちの大淀川の環境を良くする活動	大淀川（大淀川水系）	9:20
2	宮崎市立本郷小学校	本郷の川「山崎川」を学ぼう	山崎川（大淀川水系）	9:23
3	日向市立東郷学園小学校　小学部４年生	水辺環境指標を用いた水辺調査	耳川（耳川水系）	9:26
4	福岡工業大学森山研究室	ドローンによる球磨川の災害調査	行徳川（球磨川水系）	9:29
5	NPO法人ひた水環境ネットワークセンター	7人の防災ヒーロー誕生の話	花月川（筑後川水系）	9:32
6	筑後川まるごと博物館運営委員会	継続は力！18 年 目 を迎える 災害伝承活動「昭和 28 年筑後川大水害を伝える会、 写真展と証言発表会」	筑後川（筑後川水系）	9:35
質疑応答（PR動画：はまぐり碁石ができるまで）				15分

Bグループ（09:53～10:26）※日向PR動画含む

コーディネーター	田中　洋丞	加勢川開発研究会	
	東　俊孝	宮崎大学大学院工学研究科	

No.	団体名	応募テーマ	活動場所等	発表予定時刻
7	コノハナロード延岡市民応援隊	のべおかの花咲かじいさん	文化・自然活動ゾーン（五ヶ瀬川水系）	9:53
8	直方川づくり交流会	遠賀川で夢を描こう	遠賀川水辺館（遠賀川水系）	9:56
9	九州電力(株)耳川水力整備事務所	「いい耳川」づくりを目指したダム通砂運用の取組み	宮崎県日向市美郷町諸塚村（耳川水系）	9:59
10	宮崎大学工学部	宮崎大学工学部土木環境工学プログラム	宮崎県内河川全般	10:02
11	笹尾川水辺の楽校運営協議会	笹尾川サマーフェスタ	笹尾川水辺の楽校（遠賀川笹尾川）	10:05
12	笹尾川水辺の楽校運営協議会	ナイトリバーの取組み	笹尾川水辺の楽校（遠賀川笹尾川）	10:08
質疑応答（PR動画：ヒュー！日向　ヒュー！短歌テーマソング「あこがれ」）				15分

Cグループ（10:26～10:54）

コーディネーター	中村　なおみ	NPO法人かのやコミュニティー放送	
	田中　凌央	宮崎大学大学院工学研究科	

No.	団体名	応募テーマ	活動場所等	発表予定時刻
13	ＮＰＯ法人 大淀川流域ネットワーク	絶滅危惧種保全で人材育成と地域の賑わいを	大淀川（大淀川水系）	10:26
14	次世代のためにがんばろ会	青少年チームが初運営する「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」	熊本県八代市金剛町鼠蔵（球磨川河口域）	10:29
15	耳川広域森林組合	高校生と考える林業と環境	耳川（耳川水系）	10:32
16	ＮＰＯ法人 都城大淀川サミット	第一回 菜の花ゴミ拾い大会	大淀川河川敷（大淀川水系）	10:35
17	自然と暮らしを考える研究会	厳木川の中流域における水辺の楽校環境教育の支援 活動 水のエネルギー命の体験を学ぶ	厳木川（松浦川水系）	10:38
質疑応答（PR動画：ヒュー！日向　ヒュー！っと移住）				13分

Dグループ（10:54～11:27）※日向PR動画含む

コーディネーター	春園　四郎	川内川流域ネットワーク	
	堀内　祐輔	宮崎大学工学部社会環境システム工学科	
	鷺田　廉	宮崎大学工学部社会環境システム工学科	

No.	団体名	応募テーマ	活動場所等	発表予定時刻
18	田川ふるさと川づくり交流会	コロナ禍での私達の活動	彦山川（遠賀川水系）	10:54
19	NPO遠賀川流域住民の会	遠賀川流域ごみ調査	遠賀川（遠賀川水系）	10:57
20	朝日テクノ株式会社	水辺施設「ウォーターフロントこまなき」での環境学習について	水辺施設「ウォーターフロントこまなき」（松浦川水系）	11:00
21	0024 ODAKE River project	大武川から始まり、広がった私たちの取り組みについて	一級河川大武川（五ヶ瀬川水系）	11:03
22	山崎川をきれいにする会	魅力あるふる里の川づくり	山崎川（大淀川水系）	11:06
23	菊池川のよさを広め隊(菊池川河川事務所)	菊池川のよさを広め隊の広報活動について	菊池川流域（菊池川水系）	11:09
質疑応答（PR動画：はまぐり碁石ができるまで）				15分

Eグループ（11:27～11:55）

コーディネーター	早瀬　盟子	NPO法人大淀川流域ネットワーク	
	眞邊　雄元	宮崎大学大学院工学研究科	

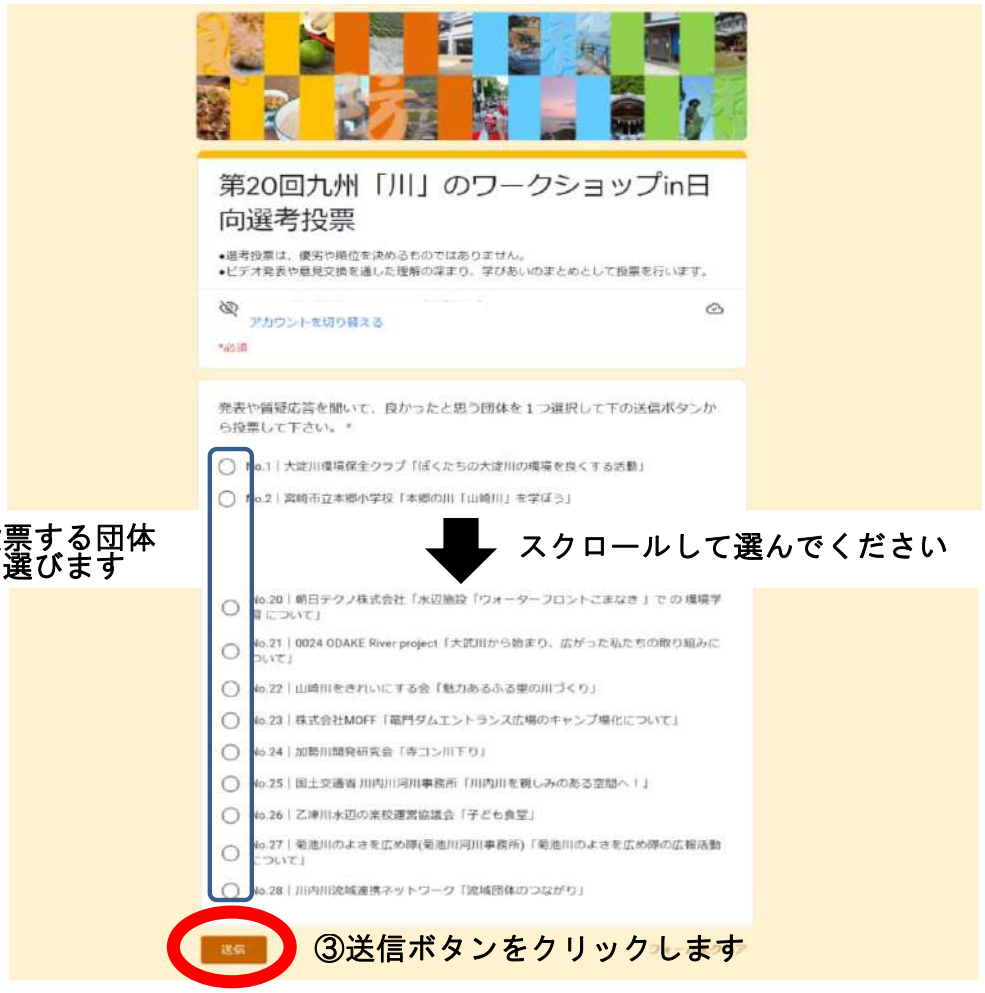
No.	団体名	応募テーマ	活動場所等	発表予定時刻
24	株式会社MOFF	竜門ダムエントランス広場のキャンプ場化について	竜門ダム（迫間川水系）	11:27
25	加勢川開発研究会	寺コン川下り	加勢川（緑川水系）	11:30
26	国土交通省　川内川河川事務所	川内川を親しみのある空間へ！	川内川（川内川水系）	11:33
27	菊池川流域連携会議	菊池川流域連携会議の活動紹介 持続可能な社会づくりを目指して	菊池川（菊池川水系）	11:36
28	乙津川水辺の楽校運営協議会	子ども食堂	乙津川水辺の楽校(大野川水系)	11:39
29	川内川流域連携ネットワーク	流域団体のつながり	川内川（川内川水系）	11:42
質疑応答（PR動画：ヒュー！日向　ヒュー！短歌テーマソング「あこがれ」）				15分
終了時刻（予定）				11:55

選好投票

ビデオ発表終了後　　Google Form

●ビデオ発表終了後に投票ページでの受付を開始します。参加者はどなたでも投票できます。
一番お気に入りの団体を選んで送信して下さい。
※投票する団体は、ご自身が関係する団体や活動の場以外のものから選んでください。

①こちらのQRコードをスマートフォンを使用し、カメラ機能やQRコード読み取りアプリから投票いただけます。パソコンの方は下記URLから投票お願いします。



②投票する団体を選びます

スクロールして選んでください

③送信ボタンをクリックします

１１月 ７日（日）午後のプログラム

１３：００～　オリエンテーション　ZOOM

参加者集合

午後のスケジュールと進行方法の説明　大会副実行委員長　池辺　美紀

１３：１０～　講演　ZOOM

講師：福岡大学工学部社会デザイン工学科教授　渡辺　亮一　様

●質問はQ&Aを使用します。時間の都合により、全ての質問にお答えはできない事もありますので、ご容赦ください。

・パソコン：下部のウィンドウにあるコントロールで、[Q&A] をクリックします。

・モバイルデバイス：画面をタップしてメニューを表示[Q&A] の順にタップします。

・メッセージを入力し、Enter キーを押してメッセージを送信できます。

１４：３０　パネルディスカッション　ZOOM

●テーマ：日本のひなたから届け！みんなで取り組む流域治水

コーディネーター

大淀川流域ネットワーク代表理事　杉尾　哲　氏

コメンテーター

福岡大学工学部社会デザイン工学科教授　渡辺　亮一　様

パネリスト

次世代のためにがんばろ会（熊本県八代市）代表 松浦 ゆかり 氏

川坂川を守る会（宮崎県延岡市）事務局長　安藤 俊則　氏

九州電力 耳川水力整備事務（宮崎県日向市）所長　前畠 龍三　氏

●質問はZOOM内のQ&Aを使用します。時間の都合により、全ての質問にお答えはできない事もありますので、ご容赦ください。

１５：４０～　閉会式　ZOOM

●表彰式

●ふりかえり　国土交通省九州地方整備局　河川部　竹下 真治　河川情報管理官

●次回開催地への引き継ぎ

●閉会の挨拶　第20回九州「川」のワークショップin日向実行委員長　山田 大志

川のワークショップの説明

ビデオ発表（ZOOMウェビナー）

●１団体**３分程度**で活動・事業発表を行います。
●グループ毎にコーディネーターから質問などを行います。

ビデオ発表イメージ

ビデオ発表イメージ

アピールタイム（ウェブ）

●１０月１５日より、発表団体のホームページや活動が分かるページを掲載して、お互いの活動をより深く知ることで、参加者同士の情報交換や交流を図る取り組みを行っています。

活動紹介イメージ

こちらのQRコードをスマートフォン
で読み取ってご覧いただけます。
https://www.gokasegawa.net/report/5802/

選　好　投　票

●選好投票は、優劣や順位を決めるものではありません。
●ビデオ発表や意見交換を通した理解の深まり、学びあいのまとめとして投票を行います。
●ビデオ発表終了後に投票ページでの受付を開始します。
一番お気に入りの団体を選んで送信して下さい。
※投票する団体は、ご自身が関係する団体や活動の場以外のものから選んでください。

こちらのQRコードをスマートフォン
で読み取って投票いただけます。
https://forms.gle/Ajr5brdcAMWZr5Vw6

福岡大学渡辺教授による講演とパネルディスカッション

●午後からは、講演会とパネルディスカッションを行います。
【講演会】
福岡大学工学部社会デザイン工学科教授　渡辺　亮一　様
【パネルディスカッション】
テーマ「日本のひなたから届け！みんなで取り組む流域治水」
コーディネーター　　実行委員会顧問　杉尾　哲　氏
パネリスト　　次世代のためにがんばろ会　代表　松浦ゆかり　氏
川坂川を守る会　事務局長　安藤俊則　氏
九州電力(株)耳川水力整備事務所所長　前畠龍三　氏

渡辺亮一
福岡大学教授

第20回 九州「川」のワークショップ in 日向
ビデオ発表団体一覧

No.	団体名	発表テーマ	活動流域等	県	部門
1	大淀川環境保全クラブ	ぼくたちの大淀川の環境を良くする活動	大淀川（大淀川水系）	宮崎	子どもの部
2	本郷小学校	本郷の川「山崎川」を学ぼう	山崎川（大淀川水系）	宮崎	子どもの部
3	日向市立東郷学園小学校　小学部４年生	水辺環境指標を用いた水辺調査	耳川（耳川水系）	宮崎	子どもの部
4	森山研究室	ドローンによる球磨川の災害調査	行徳川（球磨川水系）	福岡	安全安心
5	NPO法人ひた水環境ネットワークセンター	7人の防災ヒーロー誕生の話	花月川（筑後川水系）	大分	安全安心
6	筑後川まるごと博物館運営委員会	継続は力！18 年 目 を迎える 災害伝承活動「昭和 28 年筑後川大水害を伝える会、 写真展と証言発表会」	筑後川（筑後川水系）	福岡	その他
7	コノハナロード延岡市民応援隊	のべおかの花咲かじいさん	文化・自然活動ゾーン（五ヶ瀬川水系）	宮崎	川づくり
8	直方川づくり交流会	遠賀川で夢を描こう	遠賀川水辺館（遠賀川水系）	福岡	川づくり
9	九州電力（株）耳川水力整備事務所	「いい耳川」づくりを目指したダム通砂運用の取組み	宮崎県日向市美郷町諸塚村（耳川水系）	宮崎	川づくり
10	宮崎大学工学部	宮崎大学工学部土木環境工学プログラム	宮崎県内河川全般	宮崎	川づくり
11	笹尾川水辺の楽校運営協議会	笹尾川サマーフェスタ	笹尾川水辺の楽校（遠賀川笹尾川）	福岡	その他
12	笹尾川水辺の楽校運営協議会	ナイトリバーの取組み	笹尾川水辺の楽校（遠賀川笹尾川）	福岡	その他
13	ＮＰＯ法人 大淀川流域ネットワーク	絶滅危惧種保全で人材育成と地域の賑わいを	大淀川（大淀川水系）	宮崎	環境保全
14	次世代のためにがんばろ会	青少年チームが初運営する「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」	熊本県八代市金剛町鼠蔵（球磨川河口域）	熊本	環境保全
15	耳川広域森林組合	高校生と考える林業と環境	耳川（耳川水系）	宮崎	環境保全
16	ＮＰＯ法人 都城大淀川サミット	第一回 菜の花ゴミ拾い大会	大淀川河川敷（大淀川水系）	宮崎	環境保全
17	自然と暮らしを考える研究会	厳木川の中流域における水辺の楽校（環境教育の支援活動）＝水のエネルギー 命の体験を学ぶ	厳木川（松浦川水系）	佐賀	環境保全
18	田川ふるさと川づくり交流会	コロナ禍での私達の活動	彦山川（遠賀川水系）	福岡	環境保全
19	NPO遠賀川流域住民の会	遠賀川流域ごみ調査	遠賀川（遠賀川水系）	福岡	環境保全
20	朝日テクノ株式会社	水辺施設「ウォーターフロントこまなき 」で の環境学習 について	水辺施設「ウォーターフロントこまなき」（松浦川水系）	佐賀	環境保全
21	0024 ODAKE River project	大武川から始まり、広がった私たちの取り組みについて	一級河川大武川（五ヶ瀬川水系）	宮崎	環境保全
22	山崎川をきれいにする会	魅力あるふる里の川づくり	山崎川（大淀川水系）	宮崎	環境保全
23	菊池川のよさを広め隊(菊池川河川事務所)	菊池川のよさを広め隊の広報活動について	菊池川流域（菊池川水系）	熊本	その他
24	株式会社MOFF	竜門ダムエントランス広場のキャンプ場化について	竜門ダム（迫間川水系）	熊本	利活用
25	加勢川開発研究会	寺コン川下り	加勢川（緑川水系）	熊本	利活用
26	国土交通省　川内川河川事務所	川内川を親しみのある空間へ！	川内川（川内川水系）	鹿児島	利活用
27	菊池川流域連携会議	菊池川流域連携会議の活動紹介 持続可能な社会づくりを目指して	菊池川流域（菊池川水系）	熊本	利活用
28	乙津川水辺の楽校運営協議会	子ども食堂	乙津川水辺の楽校（大野川水系）	大分	その他
29	川内川流域連携ネットワーク	流域団体のつながり	川内川（川内川水系）	鹿児島	その他

エントリーNo.1

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	ぼくたちの大淀川の環境を良くする活動	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 おおよど 大淀川（　大淀川　水系）	宮崎県　宮崎市
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（○）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成元年から，6回/1年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	大淀川環境保全クラブでは、3年前から大淀川の保全活動をとおして、自然環境や生態系の維持を図るための学習を行っています。併せて、クラブの生徒が、身近な些細なことでも環境保全を率先して行える人物、また、将来的には環境保全活動の指導的な人物へと成長していくことを目的としています。 毎月1回のスケジュールで下記を実施しています。 第1回　大淀川の生き物保全ワークショップ(保護者同伴) 第2回　五感による水辺環境調査 第3回　絶滅危惧植物タコノアシの生育地の拡大と カヌーで水辺観察 第4回　小魚の生息地の拡大と稚魚の放流 第5回　成果のまとめ 第6回　成果の発表(保護者同伴)	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	宮崎市内から応募して選ばれた小学生から中学生の24名が参加して、7月から毎月1回の計6回、大淀川での保全活動をとおして自然環境や生態系の維持を図るための学習を行っています。 活動内容は、4班に分かれて、次回に取組みたい事を話し合って、いろいろな生き物が暮らせる水辺の環境づくりについて自らどんなことができるかを考えて実践しています。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※ ふりがな　はやせ　めいこ 氏　名　早瀬　盟子
	連絡先 （○公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒880 - 0013 宮崎県宮崎市松橋1丁目36小松排水機場内
		TEL：0985-78-2655　FAX：
		E-mail：info@oyodo-river.org
	所　属	所属名（団体,部署名等）：大淀川環境保全クラブ
		ホームページURL: http://www.oyodo-river.org/
	ワークショップ参加	新規（○）　・　（　）回

エントリーNo.２

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	本郷の川 「山崎川」を学ぼう	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 山崎川（やまさきがわ）（　大淀水系）	宮崎市 宮崎県　　町 村
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（○）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成２７年から，　６回/1年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	・活動内容 本郷まちづくりの方々の協力を頂き、総合的な学習の時間に「本郷の川「山崎川」」をテーマにした環境学習を行っている。 １）本郷を知ろう　山崎川を知ろう　　（5月） ２）山崎川を探検　（６月） ３）ホタル学習　　（６月） ４）コスモスの種まき（９月） ５）景観学習　灯ろうづくり（１０月） ～灯ろう祭り（１１月）で灯ろうを飾る～（祭りは自由参加） ６）参観日での山崎川学習発表会（１２月） （成果）　子どもたちが山崎川に親しみ、環境について考える機会となっている。 （課題）　昨年度と今年度はコロナ感染予防のために地域の方々とのふれあいが限られてしまっている。今年度は「zoom」でのオンライン授業も取り入れている。	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	○　地域の方々のご協力がとてもありがたい。川の探検やコスモスの種まきの際には、水辺の環境保全や子どもたちの安全も考慮されて、夏の暑い日等も草刈等も行って頂き、頭の下がる思いである。子どもたちは地域の方からの協力や大切にされていることを感じながら学習に参加できている。 ○　参観日に行われる「山崎川学習発表会」では、子供たちがそれぞれのテーマに沿って調べ学習も行っている。分からない点は地域の方にお聞きしたり、県の教育研修センターのサイエンスアドバイザーの先生に質問したりしてきた。たくさんの方々のご協力に感謝している。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな 氏　名　野元久美子（のもとくみこ）
	連絡先 （公開可　非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒
		TEL：　　FAX：
		E-mail：
	所　属	所属名（団体，部署名等）：　宮崎市立本郷小学校　４年
		ホームページURL：http://www.mcnet.ed.jp/hongo-s/
	ワークショップ参加	新規（○）　・　（　　）回

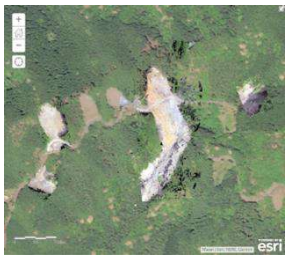
エントリーNo.３

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	水辺環境指標を用いた水辺調査	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 みみがわ 耳　川　（　耳川水系）	宮崎県　日向市
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　○　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成２３年から，１回/1年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	○学校の近くに流れる「耳川」の水質を知り、自然と自分たちの生活のつながりを意識できるようにする。 ○自然を大切にしようとする気持ちをもたせ、ふるさと東郷町の自然を守っていこうとする郷土愛をはぐくむ。 「五感を使った水辺環境指標」による６項目の水辺調査を行なう。 ・自然の音を聞いてみよう ・自然の風景をよく見てみよう ・水の透明度を見てみよう ・水のにおいはどうだろう ・水質を調べてみよう ・水生生物を調べてみよう	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	コロナ禍で、様々な活動が制限される中、ようやく実現することが出来る「水辺調査」。 東郷学園小学校の元気な４年生の活動内容と東郷町の魅力を動画と写真で発信します！	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　とうごうがくえん 氏　名　東郷学園小学部　４年生　（大垣教頭、岩崎教諭）
	連絡先 （公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒８８３-０１０６ 宮崎県日向市東郷町山陰辛３１番地１
		TEL：　0982-69-2008　　FAX：0982-69-2151
		E-mail：to-syo1@hyugacity.jp
	所　属	所属名（団体,部署名等）：　日向市立東郷学園小学校
		ホームページURL: https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1635/htdocs/index.php?page_id=0
	ワークショップ参加	新規（　○　）　・　（　　）回

エントリーNo.４

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	ドローンによる球磨川の災害調査	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　ぎょうとくがわ　＊川の場合 行徳川 （球磨川水系）	八代市 熊本県　町 村
参加の内容 **（該当に〇印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（〇），利活用（　），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 令和３年から，４回/1 年	【事業の場合】 着工　　年 ～竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	令和二年７月豪雨の災害調査の一環としてドローンを用いた調査を行っています。ドローンを使う事でいままでは調査しづらかった場所も調査が可能になり、視覚的直観的に災害の状況を把握することが出来ます。 今回は主に八代市坂本地区の土砂災害の調査を行いました。調査の結果ハザードマップと異なる災害の発生状況が確認でき、林道の有無やシカの食害が土砂災害の発生に関わっていると考えられる自然の様子なども確認できました。 ドローン調査の様子  行徳川上流の様子	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	ドローンの存在自体は浸透してきましたが、学生がドローンの調査を行っているところはまだまだ少ないと思います。災害調査の新しい手法の一つとして今後も様々な場所で調査を行いたいと思います。 皆様には得られた調査データの新しい活用方法、ドローン調査が向いていると考えられる場所、実際に調査してほしい場所などがあれば教えて頂きたいです。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　あらまき　けい 氏　名　荒牧　敬
	連絡先 （公開可・非公開） ↑ 該当する方に〇印	住所：〒
		TEL：　FAX：
		E-mail：
	所　属	所属名（団体，部署名等）：　福岡工業大学　森山研究室
		ホームページ URL： https://www.facebook.com/%E7%A6%8F%E5%B2%A1%E5%B7%A5%E6%A5%AD%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E7%A4%BE%E4%BC%9A%E7%92%B0%E5%A2%83%E5%AD%A6%E7%A7%91%E6%A3%AE%E5%B1%B1%E7%A0%94%E7%A9%B6%E5%AE%A4-1312394495455608
	ワークショップ参加	新規（　）　・　（１）回

エントリーNo.５

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	7 人の防災ヒーロー誕生の話	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 花月川（筑後川水系）	大分県日田市
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（○），利活用（　），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成 30 年から，　回/1 年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	平成 24 年北部九州豪雨で被災した筑後川水系の花月川流域。 洪水のことを忘れかけていた平成 29 年ふたたび被災。流域の自治会で繋がる大切を認識。水環境ネットワークセンターが事務局となり勉強会やイベントを実施。しかし、新型コロナの感染拡大で会議やイベントが中止に。そんな時でも日田市では大雨が降り、花月川以外の場所が被災する。自治会長のみなさんは防災の意識は忘れたらいけないと改めて認識。 そこでイベントができないなら改めて「防災広報」に力を入れることに。インパクトがあり、みなさんの防災意識向上に寄与できるのは何か？７つの自治会から自治会長や防災担当が手を挙げる。制作したポスターはスーパーや公民館などに掲示。インタービューした映像はインターネットや大型ビジョンで配信した。すると、自治会長モデルのインパクトあるポーズがメディアから注目を浴び、雨の多い 6 月から 7 月に防災の話題を提供することに。そんな 7 人の自治会長らのヒーロー誕生の話です。 	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	毎年のように大雨がある日田市において、今年一番の話題は「防災かわら版」。この企画に協力を惜しまなかったのが、自治会長や防災担当者の方。モデルではない「本気」が、メディアの反響も大きかったと考える。 せっかくのインパクトを継続していくために、物理的に必要な制作費などを捻出するアイデアなどあれば教えて欲しい。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　かわづ　ゆうせい 氏　名　河津　勇成
	連絡先 （公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒877-0016 日田市三本松 2-2-6　（社）日田青年会議所内 TEL：0973－24－7150　FAX： E-mail：you@mameroshi.com
	所　属	所属名（団体，部署名等）：NPO 法人ひた水環境ネットワークセンター ホームページ URL：http://www.hita-mizu.net/
	ワークショップ参加	新規（○　）　・　（　　）回

エントリーNo.６

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	継続は力！18 年目を迎える災害伝承活動「昭和 28 年筑後川大水害を伝える会、写真展と証言発表会」	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　ちくごがわ＊川の場合 筑後川 （筑後川水系）	久留米市 福岡県　　町 村
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（），利活用（　），川づくり（　），その他（○）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成　15 年から，　2～8 回/1 年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年

発表内容

・活動や事業の内容
・成果、課題等

（写真なども可）

平成 15 年、昭和 28 年大水害の 50 周年に筑後川防災施設くるめウスの開館イベントとして昭和 28 年筑後川大水害写真展を行なって以来、一般より写真を募集充実して毎年展示、同時に当時の体験者による証言発表会を行なう「昭和 28 年大水害を伝える会」は今年で 18 年目になります。毎年梅雨時にくるめウスでの実施のほか、平成 28 年からは毎年、流域各地への出張写真展と証言発表会、子ども向け防災教室を同時開催で実施しています。当時の未曾有の大水害を今に生かし後世へ伝えるために、当時の情報を集めその体験、教訓などを伝える災害伝承活動となっています。

●成果として、幻のレコードと言われた「災害派遣の歌」が再発見され、以後、発表会の最後に曲を流しています。
●課題は、体験者の高齢化が進み、今後この記憶が途切れることへどう対応していくか？

ビデオ発表のアピールポイント

・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など

①水害写真展と証言発表会を毎年実施し、過去 17 年間継続し流域各地に出張も行なっています。今まで写真展を 63 回、証言発表会を 26 回実施しました。継続することで、毎年地域に知れわたって、梅雨時期の年中行事のようになり、新聞記事で注目されています。
②水害の体験者を一般募集して証言発表していただいています。中には家族や一族郎党、近所の人、同窓会の人などを誘ってこられます。発表者に刺激されて会場からも飛び入りで次々と発表者が現れます。
③当時の写真のスライドショーを行って、各地の被害の様子を現在の写真とハザードマップで比較しその地区の被害の程度をわかりやすく語る、聞き語り解説を行なっています。同時開催の写真展では、体験者が付箋紙に自由に情報を記入し写真に貼りつけて写真をわかりやすくしたり、証言ノートに体験談などの情報を自由に記入していただいています。

①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　　なべたやすなり 氏　名　鍋田康成
	連絡先 （○公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒839 － 0863 福岡県久留米市国分町 1986-4
		TEL：　090-7989-6901　　FAX：0942-21-9311
		E-mail：ppnpf822@yahoo.co.jp
	所　属	所属名：筑後川まるごと博物館運営委員会　副館長
		ホームページ URL：https://www.facebook.com/chikugogawa.marugoto/
	ワークショップ参加	新規（　　）　・　（　8　）回

エントリーNo.７

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	のべおかの花咲かじいさん	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　＊川の場合 ぶんかしぜんかつどう 文化・自然活動ゾーン （五ヶ瀬川水系五ヶ瀬川）	宮崎県延岡市
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（○），安全安心（　），利活用（　），川づくり（○），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成 21 年から，　250 回/1 年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	『故郷延岡に思返しがしたい。』その思いを河津桜に寄せて、ＮＰＯ法人コノハナロード延岡市民応援隊（旧名称：天下一ひむか桜の会）は平成２１年７月に誕生し、それ以降、菜の花の種をまき、広大な敷地の維持管理や桜と菜の花で美しい花の河川空間づくりを進めてきたことで自然豊かな延岡市内の貴重なオープンスペースとなっています。近年は、東九州自動車道の全線開通に伴って観光・流通などの活性化が期待されていますが、その活性化対策の一つとして、歴史ある延岡・五ヶ瀬川を外部に PR できる魅力・資源と連携したまちづくり・かわづくりが求められているところであり行き届いた維持管理が成された河川空間は延岡市民の憩いの場となっています。また環境学習による地元小中学生との交流も常日頃から行っており、今回、地元中学生が作成した紙芝居を交えて団体の日々の維持活動内容を発表します。	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	長年取り組んできた活動が功を奏し、地元中学生が作成したコノハナロードを題材の紙芝居「のべおかの花咲かじいさん」を通じて世代を超え、今後も受け継がれていくであろう郷土愛を皆様にお伝えします！ 	
①応募者・参加者 **応募者名 参加者名**	※　ふりがな　まつだ　しょうじ 氏　名　松田　庄司	
連絡先 （○公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒882-0005 宮崎県延岡市夏田町５３１５ TEL：　090-5459-2674　FAX：0982-35-2330 E-mail：hanajiji102@yahoo.co.jp	
所　属	所属名（団体，部署名等）：　NPO 法人コノハナロード延岡市民応援隊 ホームページ URL：http://www.konohanaroad.com	
ワークショップ参加	新規（　　）　・　（　　）回	

エントリーNo.８

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	遠賀川で夢を描こう		
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 直方川づくり交流会（のおがたかわづくりこうりゅうかい） （遠賀川水系）	福岡県	直方市 町 村
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（　），川づくり（○），その他（　）		
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成８年から，２４回/1年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年	
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	コロナ禍の中でいろいろな活動ができにくくなりました。 しかし「遠賀川の夢プラン」は顕在です。 そこで夢に向かってみんなで力を合わせている姿を劇にしました。		
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	年齢に負けないハツラツとした若さのある劇を見てください。		

①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな 氏　名　坂本榮治（さかもとえいじ）　他10名
	連絡先 （○公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒　８２２-００１３ 福岡県直方市溝堀1-1-1　遠賀川水辺館内　　（担当：仲野）
		TEL：0949-22-1810　　FAX：0949-22-1810
		E-mail：mbk-bosai@basil.ocn.ne.jp
	所　属	所属名（団体,部署名等）：　直方川づくり交流会
		ホームページURL:
	ワークショップ参加	新規（　　）　・　（２０）回

エントリーNo.９

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	「いい耳川」づくりを目指したダム通砂運用の取組み	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	＊川の場合 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　耳川水系）	日向市 宮崎県　美郷町 諸塚村
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（　），川づくり（○），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成　　年から，　回/1年	【事業の場合】 着工 2017年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	宮崎県では、平成17年の台風14号による災害を機に「耳川水系総合土砂管理計画」が策定されました。この中で九州電力は同計画の中核的な取り組みとなる「ダム通砂運用」を平成29年から実施しています。ダム通砂とは「河川本来の土砂の流れを取り戻す」ことを目指し、台風などの大雨による出水時に、ダムの水位を下げて貯水池を本来の河川のような状態にし、上流から流れ込む土砂を下流へ流すものです。この通砂を実施することにより、ダム上流域では洪水時に河床上昇を抑制でき水位上昇を抑える「治水安全度の向上」が図れます。また、ダム下流域では、様々な粒径の土砂供給により河川環境の変化も期待できます。 　このダム通砂運用の取組みや、環境モニタリング調査などで確認した河川環境の変化について発表します。	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	ダム通砂運用は全国的にも先駆的な取り組みです。 　これまで通砂を３回実施したことで、河川環境などに良い影響が徐々に表れてきています。 　九州電力はこれからも流域の皆様と一体となって『いい耳川』を目指した取組みを続けていきます。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　こだま　しんいち 氏　名　小玉　晋一
	連絡先 （○公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒883-8533 宮崎県日向市北町一丁目112番地
		TEL：　0982-53-5800　　FAX：0982-53-5879
		E-mail：Shinichi_Kodama@kyuden.co.jp
	所　属	所属名（団体，部署名等）：九州電力株式会社 耳川水力整備事務所
		ホームページURL：http://kyuden.co.jp
	ワークショップ参加	新規（　　）　・　（　３　）回

エントリーNo.１０

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	宮崎大学工学部土木環境工学プログラム	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 宮崎県内河川全般（　　水系）	宮崎県　宮崎市　町　村
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（　），川づくり（◯），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成 28 年から，10 回/1 年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	宮崎大学工学部では大淀川、耳川、小丸川等の県内河川をフィールドとした治水、利水、環境のバランスの取れた川づくりに貢献することを目指して研究を行っています。 現地研究はそれぞれの河川の特性をよく知るために、現地調査から始めます。川の流量や地形、河床の石の大きさ、水質などの物理・化学的的な環境だけでなく、水生昆虫や細菌などの生物学的な調査も行います。調査にはドローンや最先端の測定器・分析機器などを駆使します。 調査で得られたデータを統計学的手法や人工知能を使って解析したり、コンピューターシミュレーションによって再現して、将来の姿を予測したりもします。また、ダムなどが持続的に利用できるようにするための技術開発もしています。具体的な研究内容の例を以下に挙げます。 ・一ツ瀬川の濁りの元はどこからくるか ・大淀川をさかのぼる海水の動き ・小丸川、耳川のダムによる流れの変化と水生昆虫への影響 ・ドローンを使った河原の石の分布調査 ・ダムに貯まった土砂を有効利用する	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	県内の様々な河川で測量をしたり、サンプリングをしたり、ドローンを飛ばしたりしています。ビデオではその様子や研究の成果を短い時間ですがお見せしたいと思います。 現地調査やシミュレーションによって色々なことがわかったらそれを地域の方々とも共有し、一緒に川づくりを進めて行きたいと思います。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※ ふりがな　いりえ　みつてる 氏　名　入江　光輝　発表者（東 俊孝　　田中 凌央）
	連絡先 （公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1
		TEL：0985-58-7341　FAX：0985-58-7341
		E-mail：irie.mitsuteru.p2@cc.miyazaki-u.ac.jp
	所　属	所属名（団体, 部署名等）宮崎大学工学部土木環境工学プログラム
		ホームページ URL：https://www.miyazaki-u.ac.jp/civil/
	ワークショップ参加	新規（ ○ ）　・　（　　）回

エントリーNo.１１

発表応募申込書(第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向)

発表する活動や事業の名称･テーマ	笹尾川サマーフェスタ	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに!**	ふりがな　ささおがわみずべのがっこう　*川の場合 笹尾川水辺の楽校(遠賀川　笹尾川　)	福岡県北九州市 八幡西区 村
参加の内容 **(該当に〇印)**	■　子どもの部(　)※中学生まで ■　環境保全(　), 安全安心(　), 利活用(　), 川づくり(　), その他(〇　)	
活動･事業の期間	【活動の場合】 令和 3 年から,　1 回/1 年	【事業の場合】 着工　年 ~ 竣工　年
発表内容 • 活動や事業の内容 • 成果、課題等 (写真なども可)	子ども食堂「くすくす」の利用者、スタッフ、ボランティアで、笹尾川水辺の楽校で ① 親子カヌー体験 ② 水辺の安全につて ③ 縁日　を行った。 ・親子参加によって、保護者との交流が図れた。 ・今後この保護者を水辺の楽校の活動に、どのように転化するかが課題であり、目標である。	
ビデオ発表のアピールポイント • 活動の効果や先進性、ユニー クな点。意見、 アドバイスが欲しいと思う点など	・縁日は、全て手作りの企画で有り、子どもの喜びを実感できた。 ・保護者との繋がりを継続すると同時に、いろんな企画を提案する。 	
①応募者･参加者	**応募者名 参加者名**	※ ふりがな　うらはま　けいすけ 氏 名　浦濱　恵介
	連絡先 (〇公開可･非公開) ↑ 該当する方に〇印 所 属	住所:〒807-1145　北九州市八幡西区楠橋西 2-6-14 TEL:080-3155-6749　FAX: E-mail:k.urahama@be-blessed.jp 所属名(団体,部署名等):笹尾川水辺の楽校運営協議会
	ワークショップ参加	新規(　)　･　(　5)回

エントリーNo.１２

発表応募申込書(第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向)

発表する活動や事業の名称･テーマ	ナイトリバーの取組み	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに!**	ふりがな　　*川の場合 ささおがわみずべがっこう 笹尾川水辺の楽校　（遠賀川　笹尾　水系）	北九州市 福岡県八幡西区 町
参加の内容 **(該当に〇印)**	■　子どもの部( )※中学生まで ■　環境保全( ), 安全安心( ), 利活用( ), 川づくり( ), その他(〇　)	
活動･事業の期間	【活動の場合】 令和 1 年から,　1 回/1 年	【事業の場合】 着工　年 ~ 竣工　年
発表内容 • 活動や事業の内容 • 成果、課題等 (写真なども可)	水辺の賑わい創出を目的としたミズベリングが、大雨で 2 年連続中止になった。そこで、代替事業として、牛乳パックを利用したキャンドルを地域の住民団体の声掛け、このキャンドルを河川敷に配置し、幻想的キャンドルアートと賑わいを創出した。特に、牛乳パックを集めることにより、参加意識の向上を図った。 2 年目は、遠賀川流域フェスタと位置づけ、遠賀川流域 8 団体が参加し、今年度は、下流域の 5 団体の参加の下、市域連携事業として活動した。 また、コロナ禍の中、感染対策として SNS を駆使し、広く広報した。 	
ビデオ発表のアピールポイント • 活動の効果や先進性、ユニーク な点。意見、 アドバイスが欲しいと思う点など	・若手を中心とした実行委員長、員会の立ち上げ。 ・コロナ感染対策　SNS の活用 ・住民参加意思の向上作戦　牛乳パック ・流域連携の成果　遠賀川流域フェスタ、なかま川づきあい交流会　等	
①応募者･参加者	**応募者名 参加者名**	※ ふりがな　たてばやし　まなぶ 氏 名　　舘林　　学
	連絡先 (〇公開可･非公開) ↑ 該当する方に〇印 所 属	住所:〒807-1144　北九州市八幡西区真名子 1-10-11-106 TEL:090-3668-6590　　FAX: E-mail:tatebayashi.nagare@gmail.com 所属名(団体,部署名等):笹尾川水辺の楽校運営協議会
	ワークショップ参加	新規(　　)　･　(5)回

エントリーNo.１３

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	**絶滅危惧種保全で人材育成と地域の賑わいを**	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 おおよど 大淀川（　大淀川　水系）	宮崎県　宮崎市
参加の内容 **(該当に○印)**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（○），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成 27 年から，6　回/1 年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	平成27 から大淀川の天満橋下の小川で環境省と宮崎県の準絶滅危惧植物のタコノアシの保全活動を行っています。年2～3回ボランティアの皆さんに参加してもらって、タコノアシの周りのヨシやオギの刈取りをしています。また、宮崎市内の子ども達を対象として、生物多様性の座学とタコノアシの生育地の拡大と小魚が住みやすくするための方法をみんなで考えてもらって実践させて、生き物との繋がりを考えさせるワークショップ形式の半年間に6回の環境教育などを行なっています。それらの活動が評価されて令和 3 年度の環境大臣賞を受賞しました。その受賞記念として地域の足を担う JR 九州の支援を目的としてJR ウオーキングを11/21 に開催することとしました。そのルートは南宮崎駅から大淀川の河川景観を楽しんで、天満橋下でタコノアシの紅葉を鑑賞して南宮崎駅に戻るものです。途中の橘橋下の河川敷で、大淀川の水辺リングの社会実験として、地域の賑わいの振興を図るための第3回大淀川リビングを開催して大淀川流域の工芸品や食料品を出店してもらって、JRウオーキングの参加者や地域の方々に楽しんでもらいます。	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	・準絶滅危惧植物のタコノアシの保全活動を行っています。 ・宮崎市内の子ども達が、生き物との繋がりを自ら考えて実践するワークショップ形式の環境教育を行なっています。 ・令和 3 年度の環境大臣賞を受賞しました。 ・授賞記念として地域の足を担う JR 九州の支援を目的としてJR ウオーキングを開催します。 ・地域の賑わいの振興を図るための大淀川リビングを開催します。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　すぎお　さとる 氏　名　杉尾　哲
	連絡先 （○公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒880 - 0013 宮崎県宮崎市松橋 1 丁目 36 小松排水機場内
		TEL：　0985-78-2655　　FAX：
		E-mail：info@oyodo-river.org
	所　属	所属名（団体,部署名等）：　ＮＰＯ法人 大淀川流域ネットワーク
		ホームページ URL: http://www.oyodo-river.org/
	ワークショップ参加	新規（　　）　・　（　19　）回

エントリーNo.１４

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	青少年チームが初運営する「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 熊本県八代市金剛町鼠蔵（球磨川河口域） （球磨川水系）	八代市 熊本県
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（○），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成16年から，1回/1年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	平成16年から始めた「八代海河川・浜辺の大そうじ大会」は今年で17回目を迎えました。最初は地域の各地で同じ時間に場所は身近な河川や浜辺のごみ拾いから始めたのですが、年々参加者も増加し、スタッフ不足が生じ、会場を1か所にしました。八代市内のど真ん中を流れる球磨川は、市民にとっては大事な河川で、球磨川の恩恵で暮らしているといっても過言ではありません。地下水はもちろん農業・企業もこの球磨川の水に頼っています。昨年、令和2年豪雨災害で、大量のごみが球磨川の護岸に散乱しておりました。昨年はその時期に大そうじ大会を呼びかけたのですが、市内の高校生が600人以上も参加し、球磨川河口の大抵のごみを拾い上げてくれました。その時に「スタッフとして参加したい」という高校生の声があり、今年令和3年度に青少年チーム「エコユースやつしろ」を発足させました。今年はその「エコユースやつしろ」の活躍場面をドローン映像・編集でご覧ください。	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	・市内の高校生の自発的な清掃活動600人 ・球磨川の保全意識の体験活動 ・地域の良さを世界にアピールすることのできる人材育成	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　　まつうら　ゆかり 氏　名　　松浦　ゆかり
	連絡先 （○公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒866-0856 熊本県八代市通町6－43
		TEL：080-5253-5081　　FAX：0965-32-2528
		E-mail：kankyo@eco-yukarin.info
	所　属	所属名（団体,部署名等）：次世代のためにがんばろ会
		ホームページURL:
	ワークショップ参加	新規（　　）　・　（４）回

エントリーNo.１５

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	高校生と考える林業と環境	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 耳川（みみかわ）（耳川水系）	宮崎県　日向市
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（○），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 令和2　　年から，　回/1年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	▼活動 日向高等学校フロンティア科の課題型学習(林業班)との取組み ▼内容 地元高校生が林業の課題をどのように解決できるかを事業者サイドから知見やプロジェクトの進め方など促進している。 ▼成果 初年度の林業班(現 3 年性)の中に林業から起因する環境面に関して環境系の学部や大学へ進学を考えることに繋がっている。 ▼課題 課題型学習なので興味がある生徒がいれば「林業」というテーマの班はできるので「環境」、「SDGs」と言ったキーワードから林業が寄与する川の機能などを有機的に繋がれるかが課題。	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	▼R2年 林業が与える環境面の影響の座学研修、現地研修を実施。 ワークショップ(2回) ▼R3年 現在、活動中 アドバイス コロナ禍の中で「学び」のキッカケ作りを他の団体がどのように実施しているのか聞きたいです。また長期的な活動を続けるとどのような効果(良い、悪い)が出るのか、内容を毎回変えて実施しているのか	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな 氏　名　耳川広域森林組合　事業部　西田秀明
	連絡先 （公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒 883 － 0106 宮崎県日向市東郷町山陰幸 280 番地 1 TEL： 0982-68-3515　FAX：0982-68-3517 E-mail：n,hideaki@mimikawa.jp
	所　属	所属名（団体,部署名等）： 耳川広域森林組合 ホームページ URL: http://mimikawa-kouiki.org/
	ワークショップ参加	新規（ ✓ ）　・　（　　）回

エントリーNo.１６

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	第一回 菜の花ゴミ拾い大会		
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 おおうおどがわかせんじき 大淀川河川敷（大淀川水系）	都城市 宮崎県　高城町町 村	
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（**レ**），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（　）		
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成　3年から，　回/1年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年	
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	コロナ禍の中、催しがことごとく中止になる中、会員さんたちのボランティア精神のモチベーションが下がっていました。 その中で、一人の会員さんが“自分たちも楽しめる（ストレス解消）イベントが出来ないか？との、持ちかけがが有り・・・それなら？！と時期的に、大淀川堤防に誰が植えたかも分からない「菜の花」の咲く場所での、ゴミ拾いを計画しました。 あいにくの雨模様でしたが、開会時には雲の切れ間が出来！清掃活動の1時間半の間、奇跡的に雨も上がり参加者の皆さんも満足の様子でした。 来年以降も、第二回・第三回・・・と続けていきます。		
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	ドローン撮影で、違った目線での映像が売りです。 きれいに見えた堤防でしたが、軽トラ1台分のゴミが集められました。		
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな 氏　名　サミット会員・国土交通省宮崎河川国道事務所	
	連絡先 （○公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒885-0006 宮崎県都城市吉尾町696-3	
		TEL：　080-6440-9107	FAX：0986-38-0743
		E-mail：makjp74692@yahoo.co.jp	
	所　属	所属名（団体，部署名等）：NPO法人都城大淀川サミット	
		ホームページURL：	
	ワークショップ参加	新規（　　）　・　（ ２ ）回	

エントリーNo.１７

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	厳木川の中流域における水辺の楽校 （環境教育の支援活動）＝水のエネルギー　命の体験を学ぶ	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 きゅうらぎがわ 厳木川（松浦川　水系）	唐津市 佐賀県　　町 村
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（○），安全安心（○），利活用（○），川づくり（○），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成　８年から，１８回/1 年・通年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	■近年は幼・小中学校と連携（総合的な学習）して体験型の環境教育支援。活動内容＝川遊びを通し、生き物、水質調査を体験、ごみ、・気候変動を五感で学ぶ活動。年間延べ参加児童数４００名。 ■自主事業＝夏休みリバースクール（川の安全教室）延べ参加１２０名。 ■指導協力者＝各流域で活動している人たちと連携交流・河川管理者 	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など ・	■今年は「コロナ」問題に振り回され活動日程の変更、延期、中止などあるも、何とか９割近くは活動できたのでその一部を映像で紹介します。 ■水文化（水車）の継承・水のエネルギー　命の体験を学ぶ ■指導・協力＝流域間交流　河川管理者 	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　いしもり　のぶゆき 氏　名　石盛　信行
	連絡先 （○公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒849 -3216 佐賀県　唐津市　相知町町切 099-1 TEL：　090-3416-5197　　FAX：0955-63-2177 E-mail：suisha@po1.people-i.ne.jp
	所　属	所属名（団体，部署名等）：　自然と暮らしを考える研究会 ホームページ URL：http://web.people-i.ne.jp/~suisha/
	ワークショップ参加	（複数）回

エントリーNo.１８

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	コロナ禍での私達の活動　田川ふるさと川づくり交流会		
活動場所の名称 ふりがなを忘れずに！	ふりがな ひこさんがわ 彦山川	＊川の場合 （遠賀川 水系）	福岡 県 田川 市（〇）町 村
参加の内容 （該当に〇印）	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（〇），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（　）		
活動・事業の期間	【活動の場合】毎月 平成10年から，1回/1年	【事業の場合】 着工　年 ～ 竣工　年	
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	コロナ禍、以前のように活動も思うように出来ない中で 今だから出来る活動を、そんな思いで始めた活動のひとつとしてユーチューブへの投稿録画があります。今回で3回目の投稿録画です。今回は児童と私達交流会のキャラクターでもあるタガッパ出演の会話形式での録画です。 短い録画でもあり、環境学習での授業でも活かせてみたいと思っています。		
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	ビデオでは、普段私達の活動の様子も一緒に写真の流れを通して皆さんに見て頂きたいと思っています。環境保全活動と同時に地域防災の取り組みとして、ハザードマップ上、流域浸水想定区域の方達へのマイタイムライン推進講座勉強会を計画開催しながら地域の方達の防災意識も深くなった思いがします。		
①応募者・参加者　応募者名 参加者名	※ ふりがな ごうはら　ゆきこ 氏　名　合原　由紀子		
連絡先 （公開可〇・非公開） ↑ 該当する方に〇印	住所：〒825-0017 福岡県田川市寿町７－５４		
	TEL 0947-44-0568	FAX：0947-44-0596	
	E-mail yuki39@muse.ocn.ne.jp		
所　属	所属名（団体，部署名等）田川ふるさと川づくり交流会		
	ホームページURL：https://www.facebook.com/tagawafurusatokawadukurikouryuukai		
ワークショップ参加	新規（　）・（ 4 ）回		

エントリーNo.１９

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップin 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	遠賀川流域ごみ調査	
活動場所の名称 ふりがなを 忘れずに！	ふりがな　おんががわ＊川の場合 遠賀川　（　　水系）	福岡 県
参加の内容 (該当に〇印)	■子どもの 邵（ ）※中学生まで ■環境保全（〇）, 安全安心（ ）, 利活用　 ）, 川づくり（ ）, その他（ ） （	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成 31 年から, 2 回/ 年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 - 活動や事業の内容 - 成果、課題等 （写真なども可）	NPO法人遠賀川流域住民の会は、遠賀川の流域28の環境愛護団体により構成されています。当会は、遠賀川の上流から下流までの流域連携による“森－川－海”を通した環境保全並びに人との交流を目指しています。その活動の一環として、遠賀川からのごみが下流の芦屋海岸を汚しているため、流域全体が集まってごみ拾いを行っています。これは開始して20年になり、近年は参加者が約500名に上っています。一昨年は参加した高校生とともにこれらのごみの分別調査を行いました。昨今、海洋プラスティックごみが海の生態系に深刻な影響を及ぼすといわれています。海洋のプラスティックゴミの約80%は、川からの流出によるものといわれています。そのため、昨年から遠賀川流域でのごみ調査を開始しました。流域10か所でその地域で活動する会員団体と協力して行っています。その結果、レジ袋、ペットボトル、食品トレー、容器包装等のプラスティックが大半を占めていることが分かりました。また、駐車場が完備し、河川に近づきやすい場所では、河川敷に遊びに来た人や釣り人のものと思われる弁当殻・お菓子などの包装、釣り竿・糸、たばこの吸い殻等が多く、堰堤の上からごみを入れたポリ袋が投げ捨てられている所も多くありました。自転車や物干しざおなども捨てられていました。昨年はコロナの影響もあって複数の場所でマスクも見られました。	
ビデオ発表のアピールポイント - 活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	コロナ禍による緊急事態宣言が続いたため、活動自体が制限されており、特に映像での活動記録があまりありません。これから映像を撮る予定です。 実際にごみを仕分けしているところ、芦屋海岸の様子の映像を提供したいと思います。うまく測定できるか不明ですが、マイクロプラスティックの測定も試みる予定です。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※ ふりがな　はらぐち　きみこ 氏　名　原口　公子
	連絡先 〇(公開可・非公開) ↑ 該当する方に〇印	住所：〒　807-0874　北九州市八幡西区大浦2-11-20-
		TEL：090-7153-4574　FAX：
		E-mail：harayu324@gmail.com
	所　属	所属名：(団体、部署等)：NPO遠賀川流域住民の会
		ホームページ URL: https://www.ongagawa.jp/index.html
	ワークショップ参加	新規（　）　-　(3　) 回

エントリーNo.２０

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	水辺施設「ウォーターフロントこまなき」での環境学習について	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　＊川の場合 みずべしせつ　まつうらがわすいけい 水辺施設「ウォーターフロントこまなき」（松浦川水系）	佐賀県伊万里市
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（○），安全安心（○），利活用（○），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 令和元年から，　1～2回/年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	佐賀県伊万里市大川町駒鳴地区は松浦川の中流域にあり、駒鳴付近で大きく蛇行していた松浦川は自然の恵みをもたらすとともに、ひとたび大雨が降ると洪水被害をもたらしてきました。捷水路が平成16年度に完成したことで安全性は高まりました。その事業において旧河部となった蛇行部の一部を河川環境事業で水辺施設とし整備したところが「ウォーターフロントこまなき」です。 私たちは令和元年度から「ウォーターフロントこまなき」で子供達を対象に自然環境学習を行っており、イベントの内容は、河川の水質調査、川の生きもの探し、安心・安全な川遊びの楽しみ方（カヌー・ＳＵＰ体験）などを行っています。 また、令和3年10月1日には伊万里市立二里小学校の6年生を対象に地域を知るための「伊万里グリーン・ツーリズム体験学習」のプログラムの一つとして駒鳴地区で環境学習及び防災イベントを行うことが出来ました。 当社は、会社をあげてSDGsの達成に取り組んでおり、上記のようなイベントを今後も行うことにより、地域の方々に環境や歴史、防災について考えるきっかけになれるよう、今後とも精進してまいります。	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	森・川・海・人はひとつとの意識を持ち、伊万里の豊かな自然を未来に継承し、地域住民が河川への関心を高め、地元の良さを知る機会になっていること。また、福岡都市圏など遠方からイベントに参加される方も多く、地域循環共生圏の創出による持続可能な地域づくりに一役買っていることがアピールポイントです。 なお、今回、伊万里市立二里小学校の体験学習としてイベントを開催することが出来たことは、私たちの強みになりました。 今後共もっと幅広く、様々な分野や人とつながりながら地域貢献活動として地域活性化に貢献していきたいと思います。 最後に、今回初めて小学校との交流を行いましたので、同じような事例などがありましたらアドバイス等もらえましたら幸いです。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　さかぐち　ひろゆき　　かみあか　なつみ 氏　名　坂口　裕之　　上赤　菜都美
	連絡先 （公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒　840-0203 佐賀県佐賀市大和町大字梅野280番地
		TEL：　0952-37-9300　　FAX：　0952-37-9301
		E-mail：kamiaka@asahi-tc.jp
	所　属	所属名（団体,部署名等）：　朝日テクノ株式会社　自然環境課
		ホームページURL：http://www.asahi-tc.jp
	ワークショップ参加	新規（　　）　・　（　1　）回

エントリーNo.２１

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	大武川から始まり、広がった私たちの取り組みについて	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　＊川の場合 一級河川　大武川（おおたけがわ）（五ヶ瀬川水系）	延岡 市 宮崎 県 大武 町 村
参加の内容 **（該当に〇印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（〇），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（〇）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成 29 年から，　回/1 年	【事業の場合】（大武神社 yellプロジェクト） 着工 R2 年 ～ 竣工 R4 年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	・団体の紹介 ・活動の内容（ゴミ拾い、河川敷の整備、河川と町の歴史調査） ・今までの取り組みついて（水辺で乾杯、赤提灯プロジェクト） ・今後について（大武神社 yellプロジェクト他）	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	・日々の活動やイベントを通じて、町の方々の大武川への関心が高まってきたのを感じます。（子どもたちが川遊びする姿も見られるようになって来ました。） ・大武町が元々、港町（明治末～昭和初期頃）として栄えていた歴史があり、その中でも大武川が重要な役割を果たしていました。もう一度、大武川の可能性や魅力を発掘し、川の自然環境、町の伝統や文化を守りながら、川を中心とした新しいまちづくりにも取り組んでいます。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※ ふりがな　まつもと　のりゆき 氏　名　松本　憲征
	連絡先 （公開可・非公開） ↑ 該当する方に〇印	住所：〒
		TEL：　FAX：
		E-mail：
	所　属	所属名（団体, 部署名等）：　0024 ODAKE River project
		ホームページ URL：　https://nori1006matu.wixsite.com
	ワークショップ参加	新規（ ○ ）　・　（　　）回

エントリーNo.２２

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	魅力あるふる里の川づくり	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　＊川の場合 やまさきがわ 山﨑川（大淀川水系）	宮崎県　宮崎　市　町　村
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（○）※中学生まで ■環境保全（○），安全安心（　），利活用（　），川づくり（○），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成２３年から，　１０回/1年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	・活動内容 水辺の環境保全に草刈り、ゴミ拾いなど年３回行い、川周辺にコスモス、ヒマワリ、彼岸花などを植え、メダカやホタルが生息する自然環境保全及び「ホタルの里づくり」地区活動に努めています。 また、地域の子供は地域で育てる主旨に沿い、地域住民が先生となり学校と地域とが連携する総合的な学習支援に自然体験学習を年間７回実施し、児童たちができる「ふる里の川づくり」に取り組んでいます。 ・成果等 草刈りに汗を流した夜、きれいな川づくりを話し合う機会となり、活動に多くの方が参加される原動力になっている。 初夏は、身近なホタルの名所として知られ、見物に大勢の市民が訪れる普段は、地域住民の安全・健康な散歩コースとして利用されています。 ・課題 土砂の流入や汚濁による水生生物の棲息環境の変化によるホタル飛翔個体数の激減を心配しています。	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	・効果や先進性、ユニークな点 川一杯の菜の花、コスモス、ヒマワリ、ソバ、草花など四季を通じて花が咲き市民に親しめる安全な散歩コースとして喜ばれている。 また、平成２７年度から実施している宮崎市市立本郷小学校の総合的な学習は、４年生に進級すると自然体験学習を先輩児童が言い伝え、水生生物調査、家族同伴の灯ろう祭り、”発見！山崎川”の自然環境発表会（授業参観）など楽しみな学校行事の一つとなっています。 景観教室では、地域の宝物を学び、児童一人ひとりの灯ろう作品をコスモス小径３００ｍに灯ろうを並べ、フラメンコ踊り、神楽を楽しむ思い出に残る「灯ろう祭り」をするなど川づくりやまちづくり後継者育成に結びつくと考える。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※ ふりがな　とびまつ　くにてる 氏　名　飛松　國輝
	連絡先 （○公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒８８０ - ０９２３ 宮崎市希望ヶ丘一丁目１８－１０
		TEL：０９０－４４８８－１８２２　FAX：
		E-mail：k-tobimatsu@gem.bbiq.jp
	所　属	所属名（団体,部署名等）： 山崎川をきれいにする会
		ホームページ URL:http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/kasen/chikirenkei/kasen_dantai/index.html
	ワークショップ参加	新規（　○　）　・　（　　）回

エントリーNo.２３

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	菊池川のよさを広め隊の広報活動について	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　＊川の場合 きくちかわりゅういき 菊池川流域（菊池川水系）	熊本県　山鹿市
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（○）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成　　年から，　回/（年）	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・ 活動や事業の内容 ・ 成果、課題等 （写真なども可）	菊池川河川事務所では、以前から事務所 HP や記者発表、昨年度からは Twitter の開設を行い、広報活動に努めているところですが、“菊池川の魅力や良さを多くの方に知って頂きたい！”という想いから、今年度より「菊池川のよさを広め隊」を発足しました。若手メンバーを中心に菊池川水系に関する情報や関係自治体のイベント情報を取材し、事務所公式 Twitter を中心に地域に寄り添った情報発信を行っています。 今回の発表では、「菊池川のよさを広め隊」がどのような広報活動を行っているのか、企画会議をはじめ、取材風景や編集、情報発信までの一連流れを紹介します。 	
ビデオ発表のアピールポイント ・ 活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	「菊池川のよさを広め隊」は、メンバーが気になっていること、知りたいこと、楽しそうなことについて取材を行っています。若手、非常勤職員が中心となって活動していることで、地域に身近な題材から土木に関することまで、幅広い情報をやわらかい表現で発信をしており、事務所公式の Twitter フォロワー数も昨年度より２倍になりました。また、みんなで話し合ったり、現地に行ったりすることで、メンバー自身が新たな発見をし、楽しく活動しています。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　えんどう　りょうこ 氏　名　遠藤　亮子
	連絡先 （公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿 178 TEL：　0968-44-2171　FAX： E-mail：
	所　属	所属名（団体，部署名等）：　菊池川のよさを広め隊（菊池川河川事務所） ホームページ URL：http://www.qsr.mlit.go.jp/kikuti/
	ワークショップ参加	新規（　○　）　・　（　　）回

エントリーNo.２４

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	竜門ダムエントランス広場のキャンプ場化について	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　りゅうもんだむ　　＊川の場合 竜門ダム（　迫間川水系）	熊本県菊池市
参加の内容 **(該当に○印)**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（○），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 令和２年５月から，　回/1 年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	活動の流れ ・令和元年５月１日　熊本県菊池市交流センターテナント「ロンロン館」業務委託 ・令和元年７月２８日　竜門ダムフェスタ　山のバザール企画運営 ・令和２年１０月　国土交通省菊池川河川事務所、菊池市へ竜門地区の活性化事業として竜門ダムエントス広場のキャンプ場事業化企画案提出 ・令和２年３月　同事業案設立に向けた「竜門ダム周辺地域活性化協議会」設立総会 ・令和２年４月　竜門ダム活性化協議会より公募を経てキャンプ場業認可 ・令和２年９月　竜門ダムドラゴンキャンプ場　オープン ・令和２年１０月　第１回ラストドラゴンウルトラ開催 ファクターオープンエア開催 ・令和３年５月　「竜門ダム周辺地域活性化協議会」総会（書面） ・令和３年１０月　第２回ラストドラゴンウルトラ開催	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	ドラゴンキャンプ場は約 3,000 ㎡のフルフラットな芝生広場と六角形の木造建築「ロンロン館」を利活用したキャンプ場です。 キャンプ場からはダムとダム湖を望むことができ、林間や海のキャンプ場とはまた違ったロケーションでお客様からも好評です。 また熊本市内からも 1 時間、福岡からも 1 時間 30 分と都市部からのアクセスも良く、菊池市の市街地までも 10 分でアクセスでき、地元の商店街や飲食店からのテイクアウト、そしてトロトロの泉質で有名な菊池温泉もご利用いただいております。 管理棟のロンロン館は、フロント機能だけではなく、軽食を食べることのできるイートインスペースのほかに、WI-FI 完備も完備していますので、キャンプをしながらのワーケーションとしてもご利用いただいております。 また、広場には遊具がない為、お客様からの遊具が欲しい等のご意見を多数いただいた背景、ロンロン館での遊具の無料貸し出しの他、キャンプ場のスタッフと地元有志の方々と、龍門地区の放置竹林から孟宗竹を切り出し制作した、高さ１４m、全長２０mのドラゴンブランコを期間限定で設置しております。 また、地元内外のいろんな団体ともキャンプ場とダム施設を活かしたコラボイベントを実施しております。（写真参照） 今後も、コロナの様子を見ながら、湖面を活用したイベントや、ダムフェスタで好評だった「ダムのおなか探検」等ダムやダム湖を活用したキャンプイベントを企画していきたいと考えています。	

①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな 氏　名　株式会社 MOFF（モフ）緒方元一　発表者　米村勇一郎
	連絡先 （〇公開可・非公開） ↑ 該当する方に〇印	住所：〒８６１－１６７１ 熊本県菊池市龍門９１６
		TEL：　０９６８－２７―００１１　FAX：
		E-mail：ogata-k@ogata-cie.com
	所　属	所属名（団体,部署名等）：　ドラゴンキャンプ場
		ホームページ URL: https://www.doragoncampsite.com/
	ワークショップ参加	新規（　〇　）　・　（　　）回

エントリーNo.２５

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	寺コン川下り	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　＊川の場合 かせがわ　みどりかわ 加勢川（　緑川水系）	熊本市 熊本県　町 村
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（○），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成　　年から，　１回/1 年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	熊本市南区川尻では宗派の垣根を超えてお寺が協力し、お寺 De フェスタが開催されています。そのイベントに寺コン（お寺で婚活）があります。私たち加勢川開発研究会は寺コンに川下りで協力しています。 	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など		
①応募者・参加者 **応募者名 参加者名**	※　ふりがな　たなか　ようすけ 氏　名　田中　洋丞	
連絡先 （公開可・~~非公開~~） ↑ 該当する方に○印	住所：〒	
	TEL：　FAX：	
	E-mail：	
所　属	所属名（団体，部署名等）：加勢川開発研究会	
	ホームページ URL：kasegawakaihatsu.net	
ワークショップ参加	新規（　）　・　（ 6）回	

エントリーNo.２６

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	川内川を親しみのある空間へ！	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　せんだいがわ　＊川の場合 川内川 （川内川水系）	鹿児島県　市　町　村
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（○），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成　　年から，　回/1 年	【事業の場合】 着工 H22 年 ～ 竣工 H31 年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	・川内川水系かわまちづくりとその利活用について 事業の進捗と実際に活用されている事例を紹介します！ 	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	・地域住民が主体となって活用している点。 ・子どもから大人まで幅広い世代が利用している点。	

①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　さかた　ともゆき、ふゆの　まさや 氏　名　坂田　朋幸、冬野　雅也
	連絡先 （公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒895-0075 鹿児島県薩摩川内市東大小路町 20-2
		TEL：0996-22-3359　FAX：0996-25-0862
		E-mail：qsr-sendai@mlit.go.jp
	所　属	所属名（団体，部署名等）：国土交通省　川内川河川事務所
		ホームページ URL：http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/
	ワークショップ参加	新規（　○　）　・　（　　）回

エントリーNo.２７

発表応募申込書（第20回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	菊池川流域連携会議の活動紹介 持続可能な社会づくりを目指して	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　　＊川の場合 きくちがわ 菊池川（　　水系）	熊本県 菊池川流域 （菊池・山鹿・玉名）
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成15年から，　2～3回/1年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	通年、実施している活動の紹介 過去五ヵ年の主な活動内容 ・きくちがわカヌーにのってウォッチング （子供たちに河川調査隊として川の安全度をチェックしてもらう） ・菊池川クリーン作戦 （ブラジルチドメグサの駆除作業） ・さかなをとって菊池川を観察する体験塾 ・丹波竜と御船竜はどんな恐竜 ・菊池川流域の地域資源シンポジウム（3回実施） ・冬の菊池川を楽しもう（スケッチさんぽ等） ・竜門ダムフェスタ　15周年感謝祭 ・菊池川河川事務所開設80周年記念事業	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	菊池川流域内にて、川を活かした地域づくりや川遊び、また、川をテーマにした環境問題への取組みなど、川を中心とした活動を行っています。「菊池川の水を飲めるように」を合い言葉に集まり、流域内の地域連携並びに地域活性化を図ることを目的として平成１５年３月に結成しました。 連携会議の主な活動としては、魚の観察会やカヌーに乗っての河川調査、ブラジルチドメグサ駆除などの清掃活動や定期的な連携会議（役員会・総会）の開催・運営など様々であり、川を使った 地域活性化、団体間の情報交換・情報共有及び各団体の発展等を図っています。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　いのくち　けいすけ 氏　名　井口　圭祐
	連絡先 （○公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒 861　-0314 熊本県山鹿市鹿本町中川１１３０-５
		TEL：　FAX：
		E-mail：kikuchi.rv@gmail.com
	所　属	所属名（団体,部署名等）：菊池川流域連携会議
		ホームページURL: https://www.youtube.com/channel/UC5l6Ai91ME89ld-FrJ73wgg
	ワークショップ参加	新規（　）　・　（10）回

エントリー№.２８

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ	子ども食堂	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**	ふりがな　＊川の場合 オトヅガワ　ミズベノガッコウ 乙津川水辺の楽校（大野川水系）	大分市 県　+町 村
参加の内容 **（該当に○印）**	■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（　），川づくり（　），その他（　）	
活動・事業の期間	【活動の場合】 平成　28　年から，24　回/1 年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）	平成 26 年 5 月から「乙津川カヌー体験教室」を乙津川水辺の楽校で始めました。貧困のためお昼ごはんを食べれない子ども達がいることに気づき、「子ども食堂」をすることとを思いつきました。その後仲間と「子ども食堂」の開設に向け、大分市役所・大分保健所などに相談して、平成 28 年 12 月から子ども食堂を始めました。	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など	「子ども食堂」を運営する中、平成 29 年には鶴崎高校の生徒達がボランティアで応援してくれるようになりました。そして、平成 30 年には日本文理大学の学生達もボランティアで応援してくれるようになり「地域力」を発揮して活動しています。 しかし、昨年と今年はコロナ禍の中、普段の活動ができていません。今は、カレーライスを小学校の広場に出前して、提供しています。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　アベヤスシ 氏　名　安部泰史
	連絡先 （公開可・非公開） ↑ 該当する方に○印	住所：〒
		TEL：　FAX：
		E-mail：
	所　属	所属名（団体, 部署名等）：乙津川水辺の楽校運営協議会
		ホームページ URL:
	ワークショップ参加	新規（　）・（ 4 ）回

エントリー№.２９

発表応募申込書（第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向）

発表する活動や事業の名称・テーマ		流域団体のつながり	
活動場所の名称 **ふりがなを忘れずに！**		ふりがな　　＊川の場合 川内川（　　水系）	宮崎・鹿児島 ３市２町
参加の内容 **（該当に〇印）**		■子どもの部（　）※中学生まで ■環境保全（　），安全安心（　），利活用（　），川づくり（〇），その他（　）	
活動・事業の期間		【活動の場合】 令和２年から，３回/1 年	【事業の場合】 着工　　年 ～ 竣工　　年
発表内容 ・活動や事業の内容 ・成果、課題等 （写真なども可）		コロナ禍により「飲みにケーション」が難しくなってきているいま、流域内の連携をどのように進めるか模索中です。 今回の発表をすることで、川内川における今後の流域連携の在り方などを再度考える機会となりました。	
ビデオ発表のアピールポイント ・活動の効果や先進性、ユニークな点。意見、アドバイスが欲しいと思う点など		活動目的の違う団体同士の連携、他の河川で進めている「流域連携」につて知りたいです。	
①応募者・参加者	**応募者名 参加者名**	※　ふりがな　　センダイガワリュウイキレンケイネットワーク 氏　名　川内川流域連携ネットワーク	
	連絡先 （公開可・〇非公開） ↑ 該当する方に〇印	住所：〒	
		TEL：　　FAX：	
		E-mail：	
	所　属	所属名（団体, 部署名等）：	
		ホームページ URL:	
	ワークショップ参加	新規（　）　・　（　）回	

第２０回九州「川」のワークショップ in 日向実行委員会

河川基金

第 20 回九州「川」のワークショップ in 日向は、公益財団法人 河川財団による河川基金の助成・（一社）九州地域づくり協会の支援を受けて実施します。